

みどりの基本計画

豊かな生活に欠かせないみどりを、どのように守り育てるのかをまとめた市の計画です。紹介した平地林も、この計画に沿って保全されています。内容は、市役所や図書館で閲覧できます。

身近なみどりについて、一緒に考えてみませんか。

◎市HP (🔍みどりの基本計画) でもご覧になれます。



生物多様性 ところざわ戦略

人が生きるためには、生き物の恵みが欠かせません。しかし、私たち人間の活動により、その生き物たちが地球規模で急速に失われようとしています。市では、市内の生き物の豊かさ=多様性をどのように確保するかの方針を、2019年からの2年間でまとめています。

緑の基金

「保全活動に参加したいけど難しい…」という方も、気軽に参加できるのが「緑の基金」です。いただいた寄付金で、樹林地を購入し保全に役立てています。募金箱は、市役所5階みどり自然課、まちづくりセンターなどに設置しています。

みどりの宝を未来へ残すために、皆様のご協力をお待ちしています。

◎詳細は市HP (🔍緑の基金) をご覧ください。



ひとたびは失われかけながらも、人々の地道な努力により再生してきた平地林。この宝をどうやって“未来”に残していくのか。私たち一人一人が考え、行動に移す時は、“今”なのかもしれません。

よみがえった樹林

— 02・旧鎌倉街道沿里山保全地域 —



▲購入直後(上)と現在(下)を同じ場所から撮影。10年の歳月でこれほどのみどりが再生しました。あえて一律な手入れをしない、生態系のバランスを考えた活動が行われています。



📍下富 1322-13 ほか

オオタカやフクロウが羽を休めに訪れます

北岩岡と下富の住宅地のすぐ横にあるのは、旧鎌倉街道沿里山保全地域。その一部に、みどりのパートナー※によるナショナル・トラスト活動地(自然保護を目的に買い取った土地)があります。この土地も、以前は産業廃棄物処理場として使われていましたが、保全団体が地域の方々と募金活動を展開。平成20年に7,426㎡の土地を購入しました。

それから約10年。一度はコンクリートに覆われた土地は、今では生き物の楽園に様変わり。樹林が隣り合わせにあることで、野生動物が行き交うことができ、多様な動植物が見られる場所になりました。

※みどりのパートナーとは、みどりの保全や緑化活動を行っている登録団体・個人のことです。

まちのオアシス

— 03・若狭 山の神市民の森・地蔵市民の森 —



📍山の神…若狭4丁目2521-2ほか
地蔵…若狭1丁目2937ほか

若狭の住宅地を歩くと、突然姿を現す2つの樹林地があります。近接するこの森は、若狭山の神市民の森と若狭地蔵市民の森。平地林が生まれるきっかけとなった新田開発は、大変な苦勞を伴うものだったため、開拓の成功や健康を願い、神仏がまつられたといわれています。

木漏れ日が心地よく四季を感じられるこの森は、住民の憩いの場にもなっています。まちを彩り潤す貴重なみどりを守るため、この森でも、みどりのパートナーの方々が下草刈りや落ち葉掃きなどの管理活動を行っています。

voice



若狭地蔵市民の森では、月1回、地域のみみなで管理活動をしています。住宅地の中に残る貴重な平地林。今後も大切にしていきたいです。

みどりのパートナー
木村一郎さん

みどりのパートナーになろう

個人・団体、誰でも登録できます。講習会や用具貸し出しの支援もあります。身近なみどりを守るあなたをお待ちしています。

◎詳細は、市HP (🔍みどりのパートナー) をご覧ください。



体験学習の場

— 04・北中 / 05・小手指 ふるさとの緑の景観地 —



北中から小手指にかけて広がるのは、県指定のふるさとの緑の景観地。宮前小学校と西富小学校からほど近い北中の平地林は、体験学習にはうってつけ。地域の自然を学び守るため、授業の一環で、年間を通じ外来植物の除去や樹木の伐採活動に取り組んでいます。教科書にはない生きた教材を目の当たりにし、子どもたちの興味は尽きることがありません。